

H29年度

静岡大学人文社会科学部社会科学歴史学コース

大学院人文社会科学部比較地域文化専攻歴史文化論

卒業論文・修士論文発表会

第一部 卒業論文報告:日本史分野(13:10~15:20)

鎌倉時代の仏教勢力と東海地方
 観応の擾乱と地域社会
 京都守護職期における会津藩と朝幕関係
 明治新政府と初期の海軍建設
 今川氏検地の構造的分析
 『源氏物語』からみる平安期の文化
 平安時代における貴族の女性観
 江戸時代における男色と武士道
 信長の撰銭令の歴史的意義
 明治期鉄道事業の地域的展開
 韓国統治構想から見る伊藤博文の評価
 遠江国高天神城の軍事的意義—徳川・武田戦争を中心に—
 太平洋戦争期における日本の軍事技術と特攻
 アジア・太平洋戦争における日本軍の特攻
 近世大名期における正室の出産・育児
 徳川家康の関東統治から見た幕府基盤の形成

伊沢 勇紀
 青嶋 紗希
 伊藤 花衣
 猪俣 光里
 大野 郁人
 北山 蒼依
 新藤 夏絵
 鈴木康平
 田中 翼
 戸田 将誠
 詠 光太郎
 平松純之亮
 宮坂 遼
 宮村 知暉
 山本 葵
 山本 康平

第二部 卒業論文報告:世界史分野(15:35~16:40)

貨幣制度から見るヴェネツィア商業の優位性
 エリザベス治世期における議会とロンドン
 ロシア革命期における内戦期の再考察—エスエル党に着目して—
 商鞅変法の特徴についての考察—呉起変法との比較から—
 中世聖地国家における十字軍理念
 19世紀ドイツ教養市民層と音楽
 中世後期フィレンツェの兄弟会
 フランス絶対王政期の王権表象と建築事業

猪ノ原三郎
 大澤 亮太
 菊谷 貢佑
 小嶋 克政
 小林 琢民
 武士 香菜
 舘石 春佳
 馬淵 有希

第三部 卒業論文・修士論文報告:考古学分野(16:55~17:35)

(卒業論文)
 弥生時代における方形周溝墓の社会的意義—静岡・清水平野における方形周溝墓群の形成過程の分析を中心に—
 静岡県沼津市土手上遺跡から出土した台形様石器の使用痕研究
 戦国期武家屋敷空間の考古学的研究—駿府城内遺跡 静大付属小地点の陶磁器の分析を中心に—
 (修士論文)
 弥生時代の織布に関する基礎的研究—東日本の布目状圧痕資料の分析を中心に—

井口 美奈
 平林 和真
 堀畑 大輝
 毛利 舞香

※各報告者の持ち時間は学部生が8分(報告5分、質疑応答3分)、院生が15分(報告10分、質疑応答5分)です。報告の順番は変更されることもあります。
 ※終了後、ささやかな懇親会を行ないます(人文社会科学部大会議室にて、会費500円を予定)。ぜひご参加下さい。
 ※発表会についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。
 戸部 健 (to be.ken@shizuoka.ac.jp)

日時:2018年2月14日(水)13:00~17:40
 会場:人文社会科学部B棟301教室
 ※1年生の参加も大歓迎です!